

仮想マシンを使用した Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンス

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要	1
更新内容	1
詳細	1
Windows VDA の権利を取得する方法	2
Windows VDA の権利の比較	3
ローミング使用权	5
シナリオ	5

概要

このライセンス簡易ガイドでは、仮想マシンで実行する Windows 10 オペレーティング システムのマイクロソフト ボリューム ライセンスの使用権の概要について紹介します。

この簡易ガイドに記載されているライセンスの説明は、マイクロソフト ボリューム ライセンスに基づく Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシュアランス (Windows ソフトウェア アシュアランス) および Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプション ライセンスに関するものです。OEM (Original Equipment Manufacturer) によってプレインストールされた Windows または他のチャネルを通じて購入した Windows で提供される使用权については、それらの製品に付属するライセンス条件を確認してください。これらのチャネルを通じて購入した製品のソフトウェア ライセンス条項については、

<https://www.microsoft.com/ja-jp/useterms>を参照してください。

更新内容

この簡易ガイドは、2014 年 12 月に発行された前バージョンを更新したものです。今回の更新では、Windows 10 のライセンスに関する情報が追加されました。

詳細

Windows ソフトウェア アシュアランスを利用すると、Windows を非常に柔軟に使用することができます。

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

ソフトウェア アシユアランスでは、他のライセンス プログラムでは提供されない独自の製品およびライセンス権利を利用できます。Windows ソフトウェア アシユアランスは、広範なデバイスから Windows インスタンスにアクセスするさまざまな方法を提供することによって、柔軟なワークスタイルを可能にします。

Windows 用ソフトウェア アシユアランスが割り当てられていないデバイスや、その対象になっていないデバイス (シン クライアントなど) については、Windows VDA サブスクリプションを通じてライセンスをユーザーまたはデバイスに別途取得し、これらの特典を利用することができます。

この簡易ガイドでは、マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様に提供される Windows の仮想化の権利について概要を紹介します。ここに記載されている内容は、仮想化シナリオを対象とした Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンスにのみ適用されます。Microsoft Office ライセンスやクライアント アクセス ライセンス (CAL) など、特定のシナリオで必要になる可能性があるその他のライセンスには対応していません。

OEM チャンネルを通じて取得した Windows デスクトップ オペレーティング システム ソフトウェア ライセンスの場合、Windows の使用権については、ソフトウェアに付属するソフトウェア ライセンス条項に記載されています。これらのライセンス条項では、仮想オペレーティング システム環境 (OSE) 内のライセンスを取得したデバイスで Windows をローカルに実行するための使用権が提供されます。ただし、ライセンスを取得したデバイスから、仮想 OSE 内でリモートで実行される Windows にアクセスするための使用権は提供されず、マイクロソフト ボリューム ライセンスを通じて取得した Windows 用ソフトウェア アシユアランスおよび Windows VDA サブスクリプション ライセンスで提供される使用権と比較した場合、その他の点で制限されています。たとえば、OEM ライセンスでは、データセンターで実行される Windows 仮想マシンへのリモート アクセスは許可されません。

Windows VDA の権利を取得する方法

Windows VDA の権利は、ライセンスを取得したデバイスまたはユーザーが、使用するライセンス形態に応じてリモートまたはローカルで仮想 Windows デスクトップにアクセスすることができます。

Windows VDA の権利は、次の場合に取得できます。

- **デバイス単位で** Windows ソフトウェア アシユアランスまたは、Windows VDA サブスクリプションのライセンスを取得する。
- **ユーザー単位で** Windows ソフトウェア アシユアランスまたは、Windows VDA サブスクリプションのライセンスを取得する。

Windows ソフトウェア アシユアランスまたは Windows VDA サブスクリプションのライセンスをユーザー単位で取得

Windows 用ソフトウェア アシユアランスや Windows VDA サブスクリプションでは、デバイスではなくユーザーごとにライセンスを取得することもできます。その場合は、完全な Windows Software Assurance per User または Windows VDA per User ライセンスを取得します。プライマリ ユーザーの作業用プライマリ デバイスが既にデバイス単位の Windows 用ソフトウェア アシユアランスまたは Windows VDA サブスクリプションの対象となっている場合は、Windows Software Assurance per User アドオンを入手することにより、既存の投資を反映した料金の Windows 用ソフトウェア アシユアランスまたは Windows VDA サブスクリプションのすべての特典を利用することができます。

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

ユーザー単位ライセンスの各オプションに関する要件の概要は以下のとおりです。

	Windows Software Assurance per User	Windows VDA per User	Windows Software Assurance per User アドオン	
			デバイス単位の Windows ソフトウェア アシュアランスに追加した場合	デバイス単位の Windows VDA に追加した場合
ライセンス要件	プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが Windows 7/8/8.1/10 Pro または Enterprise のライセンスを取得していること	デバイス要件なし。任意のユーザーに割り当て可能	プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが既に Windows ソフトウェア アシュアランスの対象となっていること	プライマリ ユーザーのプライマリ デバイスが既に Windows VDA の対象となっていること

Windows ソフトウェア アシュアランス および Windows VDA subscription のオプションに関する詳細情報は、[Windows ボリューム ライセンス ガイド](#)をご参照ください。

Windows VDA の権利の比較

ライセンス形態 (Windows ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション、デバイス単位またはユーザー単位) に応じて、付与される Windows VDA の権利にはいくつかの違いがあります。

ライセンス形態による Windows VDA の権利の概要を以下の表に示します。

Windows Enterprise へのアクセス権	ユーザー単位		デバイス単位	
	ソフトウェア アシュアランス	VDA サブスクリプション	ソフトウェア アシュアランス	VDA サブスクリプション
ローカル インストール	Windows 7/8/8.1/10 Pro、Enterprise、または Education のライセンスを取得した任意のデバイス、画面サイズが 10.1 インチ以下の任意の Windows タブレット		ライセンスを取得したデバイスのみ	ライセンスを取得したデバイスのみ (Windows 7/8/8.1/10 Pro、Enterprise、または Education のライセンスを取得済である事)
仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) または Windows To Go 経由のリモート アクセス	任意のデバイス		オフィス外で使用する企業所有以外のデバイス (ローミング使用権 を参照)	

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

ライセンス形態によるWindows VDAの権利の詳細を以下の表に示します

Windows Enterprise へのアクセス権	Windows Enterprise SA		Windows VDA	
	デバイス単位	ユーザー単位	デバイス単位	ユーザー単位
ライセンスを取得したデバイスの任意のユーザー、またはライセンスを取得したユーザーが使用する任意のデバイスは、お客様専用のデバイスの仮想 OSE で実行されているソフトウェアの最大 4 つのインスタンス、または物理 OSE で実行されているソフトウェアの最大 1 つのインスタンスにリモート アクセスできる	✔	✔	✔	✔
ライセンスを取得したデバイス上の仮想 OSE で最大 4 つのインスタンス、物理 OSE で最大 1 つのインスタンスをローカル実行できる。Windows VDA (デバイス単位) の場合、このローカル使用権はライセンスを取得したデバイスが Windows 10/8.1 Pro または Enterprise、あるいは Windows 7 Professional または Enterprise のライセンスも取得している場合にのみ適用される。仮想 OSE でローカル実行できるすべてのインスタンスが使用されている場合は、仮想 OSE をホストおよび管理する目的でのみ、物理 OSE のインスタンスを使用できる	✔		✔	
Windows 10/8.1 Pro または Enterprise、あるいは Windows 7 Professional または Enterprise のいずれかのライセンスを取得したデバイス上の仮想 OSE で最大 4 つのインスタンス、物理 OSE で最大 1 つのインスタンスをローカル実行できる。仮想 OSE でローカル実行できるすべてのインスタンスが使用されている場合は、仮想 OSE をホストおよび管理する目的でのみ、物理 OSE のインスタンスを使用することができる		✔		✔
画面サイズの合計が 10 インチ以下のデバイスにソフトウェアをインストールできる		✔		✔

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

最大 2 つの USB ドライブにソフトウェアのインスタンスを作成して保存し、ライセンスを取得したデバイスで使用できる	☑		☑	
最大 2 つの USB ドライブにソフトウェアのインスタンスを作成して保存し、任意のデバイスで使用できる		☑		☑
許可されたインスタンスの代わりに、Windows 10 Pro または Enterprise、あるいは以前のバージョンのソフトウェアを実行できる	☑	☑	☑	☑

ローミング使用权

有効な Windows ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得したデバイス (作業用デバイス) の特定の 1 名の主要ユーザーは、以下を実行することができます。

- ▶ サーバー (たとえば、お客様のデータセンター内) 上で実行されている 1 つ以上の許可されたインスタンスに、第三者のデバイスから一度にリモート アクセスする。
- ▶ 対象となる第三者のデバイス上の 1 つの仮想 OSE で、本ソフトウェアのインスタンスを一度に 1 つ実行する。

かかる主要ユーザーがお客様またはお客様の関連会社の社内にいる場合、ローミング使用权は適用されません。

これらの Windows VDA の権利および対応するローミング使用权は永続的なものではなく、基になる Windows ソフトウェア アシュアランス、Windows VDA サブスクリプション、または Windows CSLの有効期間中のみ有効です。

エディション: お客様は、Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise、または仮想マシンで実行する許可されているインスタンスの旧バージョンを使用することができます。(Windows の旧バージョンの権利については、ボリューム ライセンス契約および [マイクロソフト 製品条項](#)をご覧ください)。

シナリオ

以下のビジネス シナリオは、お客様の環境で Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンスを取得する方法を理解するために役立ちます。

注:これらの例は、Windows ソフトウェア アシュアランスおよび Windows VDA サブスクリプションのお客様を対象としたものです。シナリオに必要なライセンスが必ずしもすべて記載されているわけではありません。たとえば、VDI/Windows Server 上のセッション デスクトップまたはアプリケーション (使用する場合) にリモート アクセスするユーザーまたはデバイスにも、対応するアクセス ライセンス (Windows Server CAL、RDS CAL など) を取得する必要があります。シナリオによっては、Microsoft Office Professional Plus ライセンスも必要になる場合があります。簡略化のため、これらの個別のライセンス要件をすべて記載しているわけではありません。

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

シナリオ	説明	ライセンス ソリューション
Virtual Desktop インフラストラク チャー デスクトッ プ	Windows デスクトップ オペレーティン グ システムは、データセンターのハイパー バイザー プラットフォーム (Hyper-V テ クノロジなど) 上の仮想マシンで実行され ます。これらの仮想デスクトップには、PC、 シン クライアント、またはその他のデバイ スからアクセスします。	仮想マシンで実行されている Windows デ スクトップ オペレーティング システムにア クセスするため、デバイスまたはユーザーは、 有効な Windows ソフトウェア アシュアラン ス、Windows VDA サブスクリプションが 必要です。さらに、シナリオやユーザーによっ ては、ローミング使用权も適用されます。
リモート デスク トップ セッション ホスト/ターミナル サービス セッショ ン仮想化 “デスク トップ”	Windows Server オペレーティング シス テム (Windows Server 2012 R2 など) は、Microsoft Office Professional Plus 2013 のようなアプリケーションを実行し ているリモート デスクトップ セッション ホストを介して複数のユーザー間で共有さ れます。これらのセッションには、PC、シ ン クライアント、またはその他のデバイス からアクセスします。	デバイスは Windows Server オペレーティ ング システムのみにアクセスするため、 Windows デスクトップ オペレーティング システムの追加ライセンスは必要ありませ ん。ただし、デバイス/ユーザーは、セッショ ン テクノロジのライセンス (Windows Server CAL、Remote Desktop Services [RDS] CAL など) を取得する必要があります。 セッションにアクセスするデバイスには、 Office Professional Plus のライセンスも必 要です。
VDI デスクトップ とセッション デスクトップの混在	VDI デスクトップにアクセスするユー ザーもいれば、セッション ベースのデスク トップまたはアプリケーションにアクセス するユーザーもいます。場合によっては、 特定のデバイスが両方に同時にアクセスす る必要があることもあります (たとえば、 ユーザーが VDI デスクトップにログイン し、セッション経由でリモート アプリケー ションまたはデスクトップにアクセスする 場合など)。	Windows 用ソフトウェア アシュアランス または Windows VDA サブスクリプション を通じて Windows デスクトップ オペレー ティング システムの VDI デスクトップに アクセスするデバイスについてのみライセン スを取得する必要があります。セッション デ スクトップ、VDI デスクトップ、または Windows Server 上のアプリケーションに アクセスするためには、ユーザーまたはデバ イスは、対応するアクセス ライセンス (Windows Server CAL や RDS CAL など) を取得する必要があります。

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

ローミング VDI ユーザー	ユーザーは、VDI のライセンスを取得している、会社のシンクライアントの主要ユーザーです。ユーザーは、自宅や外出先から個人所有のタブレット デバイスを使用して VDI デスクトップにアクセスできる柔軟性も必要とします。	シンクライアント デバイスがデータセンターで同時に実行されている最大 4 つの Windows 仮想マシンにアクセスするには、Windows VDA サブスクリプション ライセンスまたは、ユーザーに対し、Windows VDA per Userのライセンスが必要です。ユーザーは Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーなので、ローミング使用権が適用され、ユーザーはタブレット（または社外で使用する他の会社所有以外のデバイス）用に追加の Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得する必要がありません。
個人所有の コンパニオン デバイスの業務利用 (BYOCD)	会社は、Windows 用ソフトウェア アシュアランス、または Windows VDA サブスクリプションの対象となる主要な作業用デバイスを従業員に提供します。また、従業員が個人所有のコンパニオン デバイス (タブレットなど) を業務に利用したり、会社の VDI にそれらのデバイスからアクセスできるようにしたいと考えています。	主要な作業用デバイスは Windows 用ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得しているため、会社はユーザーが業務中に任意のデバイスから会社のVDIにアクセスが許可される、ユーザー向けのWindows Software Assurance per User Add-onの取得が可能です。
個人所有デバイスの 業務利用 (BYOD)	会社は、ユーザーが個人所有のデバイスを業務に利用できるようにすることを決定し、すべてのユーザーに対して VDI デスクトップをセットアップします。デバイスには対象オペレーティング システムが含まれていません (たとえば、Windows 7 Home Premium のライセンスを取得している場合があります)。これらのユーザーは、その他のデバイスにはアクセスできません。	Windows VDA per User ライセンスにより、任意のデバイスから VDI デスクトップにアクセスできます。

仮想マシンを使用した Windows のライセンス

会社所有の Windows RT コンパニオン デバイス	会社は、Windows 用ソフトウェア アシュアランス、または Windows VDA サブスクリプションと、従業員が VDI を通じて会社のデスクトップにアクセスできる Windows RT デバイスの両方を一連の従業員に提供します。	主要デバイスについて Windows 用ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA ライセンスを取得する以外に、Windows ライセンスを追加する必要はありません。Windows 用ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーは、個別の Windows VDA サブスクリプション ライセンスを取得しなくても、Windows RT コンパニオン デバイスを使用して VDI 経由で会社のデスクトップにアクセスできます。
契約社員の PC	組織 A は、一部の業務について組織 B と契約し、組織 B の従業員が組織 A の VDI デスクトップに組織 B の PC からアクセスできるようにします。デバイスには対象オペレーティング システムが含まれています (Windows 10 Pro など)。	組織 A は、組織 B の従業員が組織 A の VDI デスクトップにアクセスするために使用するデバイスについて、Windows 用ソフトウェア アシュアランスまたは Windows VDA サブスクリプション ライセンス、ユーザーについては、Windows ソフトウェア アシュアランスまたは、ユーザー単位ベースの Windows VDA サブスクリプションを取得する必要があります。
ローカルの Windows 仮想マシン	組織には、Windows 10 Pro を実行している PC 上のローカル仮想マシンで実行されている複数の Windows イメージでアプリケーションをテストする必要がある開発者のグループがいます。	この PC または、主要ユーザーの PC は、有効な Windows ソフトウェア アシュアランスを取得する必要があります。これにより、最大 4 つの仮想マシンを同時に実行することができます。

© 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。